

平成31年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	10	議席 番号	12	氏名	深澤竜介 議員	1/1
発言項目				要 旨		答弁者
1	健康寿命を延ばすための政策。富士宮市の男性の「お達者度」は県内で下位である。この分析と順位を上げるための対策について			<p>健康寿命を延ばすことは、市民の幸福と財政面（介護保険・健康保険）に与える2面から重要と考える。しかしながら、富士宮市の男性の「お達者度」は県内で下位である。以下健康寿命を延ばすという視点から質問する。</p> <p>(1) 現状の分析について。</p> <p>① 富士宮市の男性の「お達者度」は県内35市町のうち27位であり、トップの裾野市とは寝たきりになる年数が2年近く違う。この結果をどう捉えているのか。</p> <p>② お達者度が低いことによる、寝たきり年数増加が与える金銭的影響は、どの程度と予測されるか。</p> <p>③ データヘルス計画の、富士宮市の平均寿命・健康寿命・SMR・死因の分析・介護保険の状況から分析できることはどういう点か。</p> <p>④ 喫煙率・食生活の特徴・運動習慣・地区別の傾向はどうか。</p> <p>⑤ 特定検診の受診率の推移はどうか。特に低かった北部地区の受診率は向上したのか。</p> <p>(2) 今後の対策について。</p> <p>① 食事面・運動面・社会参加の面、各項目の改善で行っていることはあるのか。</p> <p>② 特に男性に特化して、各対策（企業の健康経営推進）に力を入れることを提案するがいかがか。</p>		市長 副市長 関係部長
2	キャッシュレス化・電子マネーの現状と、地域の中で、経済が循環するための電子地域マネーの提案について			<p>行政は時代の変化に対応する必要がある。電子マネーやキャッシュレス化の進行がある。一方で、地域の中でお金が循環することが、地域社会にとって重要だと考えられる。この二つの面から、質問する。</p> <p>(1) 電子マネーの利用について。</p> <p>① 市民の利用者はどの程度と推計されるか。</p> <p>② 使用可能店舗はどの程度と考えられるか。</p> <p>③ 「富士宮焼きそばWAON」導入時、使用可能店舗がそれほど広がらなかった理由は何があるのか。</p> <p>④ 市への納税・手数料・利用料支払い（以下「納税等」という。）で電子マネーが利用できるものはあるか。</p> <p>⑤ 納税等が現金で行われている現状の管理においての問題点はあるか。</p> <p>⑥ 電子マネーでの納税等を可能とすべきと提案するが、導入にあたっての問題点はあるのか。</p> <p>(2) 電子地域マネーの導入について。</p> <p>① 地域の中で、経済が循環するため、電子地域マネーの導入を提案するが、いかがか。</p> <p>② 過去に検討したことはあるのか、なければ検討すべきと考えるが、いかがか。</p>		市長 副市長 関係部長